

愛道

あいどう

共に生き 共に集う 光を求めて

第129号

社会福祉法人 足羽福祉会

注目記事

必勝！福井県選手団

～2018「福井しあわせ元気」国体・障スポ～

[取組レポート] フレンズあすわ・足羽更生園・グループホーム美山

劇団四季「リトルマーメイド」鑑賞 (名古屋)

サントリー白州蒸溜所 (山梨県)



親睦と癒しの旅

長崎ハウステンボス

軍艦島クルーズ (長崎)



日田森のビール園 (大分県)

秋以降は、古都鎌倉、美人の湯三朝温泉
更にマツタケ&近江牛、カニツアー!



北海道グルメと温泉コースも間近!

平成30年度 職員旅行スナッフ

長崎ハウステンボス



別府地獄めぐり



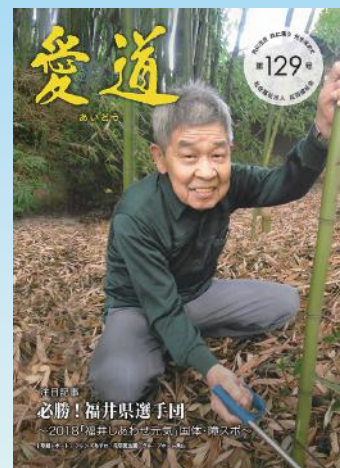
湯布院温泉街 (大分県)



今年度も各方面へ

目次 もくじ

- 2 足羽福祉会職員旅行スナッフ
- 4 地域のか、コラボのか
～保育所等訪問支援について～ … フレンズあすわ
- 6 自分で買物しよう!! … 足羽更生園
- 8 マイライフ … グループホーム美山
- 10 2018「福井しあわせ元気」国体・障スポ
～足羽福祉会選手団のご紹介～
- 12 法人からのお知らせ
- 13 平成29年度決算報告
- 14 愛のささえ



「表紙について」

七夕の短冊を飾るために、グループホームの利用者の方が職員と一緒に笹を取りに行きました。みんなのためにえんやこらあ (愛全園 大杉)

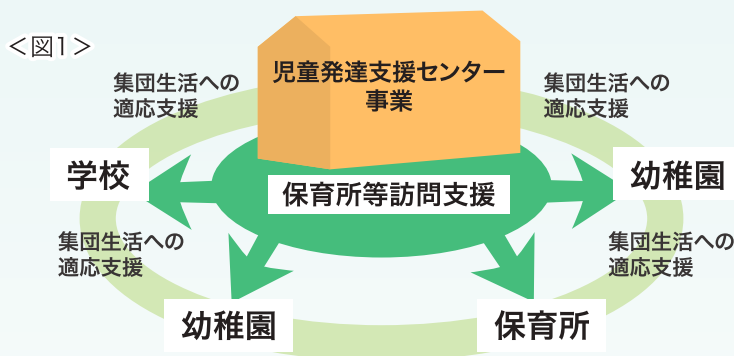


地域 の力、 コ ラ ボ の 力

保育所等訪問支援について

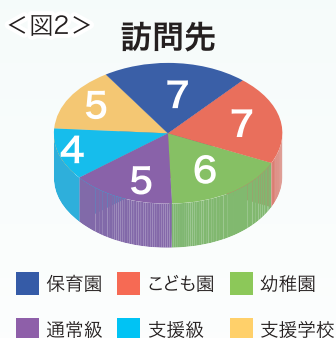
あすわ児童発達支援センターの事業紹介も4回目となります。今回は子ども発達支援センターフレンズあすわの保育所等訪問支援事業についてご紹介します。

保育所等訪問支援は、障害児相談支援と並び、通所する子どもや家族だけでなく、地域に住む発達の気になる子どもやその家族、通い先である保育園や学校等もサポートしていくことを役割としており、地域全体に子育て支援の輪が広がっていくことを願い、日々取り組んでいます。ここでは支援の実際を一部お伝えしていきます。



保育所等訪問支援とは、児童福祉法に基づく障害児通所支援の1つで、保育園や幼稚園、学校等(以下…保育所等)に専属のスタッフが訪問させていただき、集団生活においてより良く過ごしていけるよう支援を行っていくサービスです(図1)。障がいのある

保育所等訪問支援とは



です(図2)。訪問の頻度については、その状況に応じ、月1回や学期毎といったような定期的な利用から、期間を決めて集中的に利用するといった短期的なものまで、相談のうえ対応させていただいています。

訪問支援の利用状況

人もない人も共に生活している共生社会の実現が大きな目的です。

訪問支援の実際

支援内容としては、身の回りのことやコミュニケーションのサポートをはじめ、その子に合った環境づくり、行き渋りへの対応、就学移行における情報提供等の協力、支援会議への参加など多岐にわたります。ここでは、その支援の実際を一部ご紹介します。

ケース1

保育園に通っているAさん。車椅子や座位保持の椅子を使いながら園で楽しく過ごされています。座位保持の椅子は園にも置いてありますが、1つだけ。活動場所の移動の度に先生が一生懸命運んでくれている状況がありました。1階と2階にそれぞれ座位保持の椅子があるといいなという思いがスタッフにあり、そのことを先生に伝えてみたところ、園の

ローチェアをうまく使えないだろうかと提案をいただきました。そこで、Aさんが通っている療育施設のスタッフに連絡し、経緯を伝え相談。協力の快諾をいただき、Aさんが療育施設に通われた際にローチェアの調整をしていただきました（写真1）。

先生方と話し合った結果、座位保持の椅子は1階（食事を中心）に、ローチェアは各活動（工作等）への参加の際に使用していくことを目的として2階に置くこととなりました。

現在、このローチェアに座り、みんなと同じテーブルについて、みんなと同じ目線のもと、交流をもちながら楽しく活動に参加されています。



<写真1>

ケース2

保育園に通っているBさん。ある日を境に園に行けなくなり行けなかつたりする様子が見られるようになり、その後その状態が続くため、訪問支援のご要望があつたケースです。

事前にこれまでの経緯や家庭での様子等をお聞きしたうえで、実際に園に訪問し、その様子を観察させていただきましたが、活動には安定した参加があり、一見すると問題はないように見えました。また、昼過ぎまでの滞在も可能な状況でした。しかし、降園後の家庭では、苦手だったことを話したり、登園の際に昼前に迎えに行くことと約束をしていたのに約束の時間を超えていたと不満を募らせたりといったことがあるとのことでした。

そこで訪問支援では「Bさんが家庭以外では表現が苦手な可能性があること、生活

全体を捉えてサポートしていきけるよう、家庭と園で情報を交わしつつ、相談し合いながら一緒に取り組めていくといいですね」と、その調整に入らせていただきました。もともと、家族からの話によく耳を傾けてくれる先生方で、この連携により、より一層家族の安心につながっているようでした。また、それに応えるように、Bさんは現在、毎日の通園が可能となっており、安定して各活動にも参加できているそうです。



まとめ

支援に携わるうえで大切にしていくことは次の2点です。子ども・ご家族・先生のそれぞれがもつ情報や思い、意見を丁寧に伺うような心がけること、実際の生活をできるだけ丁寧把握することです。連携において状況および目的の共有は欠かせません。訪問支援ではそのそれぞれをつなぎ、連携を支えていけたらと思っています。

そして、そのプロセスに支援者（本人も含む）が主体的に参加し、協働しながら育ちを共有していける、そんな実践と一緒に積み重ねていけたらと思います。地域には力があります。共生社会は、その一人ひとりの実践の先にあるのではないかと考えています。

訪問支援員 齊藤友広

自分で 買い物 しよう!!



足羽更生園では、利用者の方による活動の一環として買い物支援を行っています。ジュースを購入する際にはご本人が財布を持って自動販売機でジュースを購入したり、また、外出先ではほしい物を選んでご本人で購入したりできるように支援しています。今回は買い物支援にかかわる取り組みやその成果についてご紹介します。



当時を振りかえって

利用者の方との外出は買い物支援に取り組み以前からありました。衣類購入のときに商品の選択や、レジでのお金の支払いなどは、職員が代わりに行っていたため、お金を払うことを意識している利用者の方は、あまりいませんでした。

平成10年に自動販売機を園内に設置したことをきっかけに、園でもできることとして、毎日の自動販売機支援の中で自分の好きなジュースを買うという取り組みを始めました。そして何事においても利用者の方が選択できる機会を増やせるよう、コンビニ外出や衣類購入外出などに力を入れました。

それでも、お金を払って自分でほしい物を購入する機会が少なく、お金を払わなければほしいものがもらえ

ないという決まりや並ぶルールがわからず、大きな声を出してお店に迷惑をかけることもありました。

またこのジュース支援については、家族からも「私たちは仕事の行き帰りにコーヒー等を飲むことが多い。この子らにも毎日の楽しみをあげてほしい」との要望もあつてのことです。

最初はお金を落としたり、他の利用者の方に盗られてしまったり、他の方が順番を横入りし、順番を取られた方は怒ってしまうなどのトラブルが絶えませんでした。



現在、足羽更生園では利用者の方の特性に応じて3か所の活動拠点に分かれて日中活動を行っています。(ドリーム班、羽生の郷班、ワンステップ班)それぞれの現場で買い物支援に携わる職員に利用者の方の成長や成果を聞いてみました。

これにしようー



利用者の方は毎日の

ジュース購入やおやつ販売をとても楽しみにしています。

特に昼食後ジュース購入

の時間になると「ジュースどの職員と行くの?」「僕1番ね」と伝えてきます。

以前には買ったらその場で

すぐ飲んでしまう方が多かったのですが、今では利用者の

方1人ひとりがお金を職員から受け取り、選んで購入

購入後は活動場所に戻って

からゆつくり飲むようになって

西田支援員

やっと買ったー



1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

どれにしようかなー



安田支援員

日中活動場所の羽生の郷では「がんばったシール」がたまるとごほうびにコンビニで買い物を行います。レジで選んだ商品をスタッフの方とやり取りしながら購入します。商品を手に取り笑顔になつていくのが印象的です。また、コンビニでの買い物物が、作業で「がんばったシール」をためる意欲にもつながっています。

これがいいの!



塚谷支援員

日中活動場所のワンステップでは、作業終了時に屋外の自動販売機までジュースを買いに行ったり、買い物学習・社会体験の「環」としておやつ時間の食べるお菓子をお店に買いに行ったりしています。ほしい物を選ぶのに時間がかかる方もいらっしゃいますが、自分の好みの商品を選びながら選び、お金を自販機やレジまで持って行き購入しています。

おやつ販売支援は、入所利用者の方の余暇として提案したものでしたが、5年程前日中活動への参加を拒否される方が数名いらっしゃったことから、これらの方の日中活動参加のきっかけにできないかと活動プログラムに「買い物学習」としてとり入れました。

おやつ販売の効果は絶大で、初回から日中活動利用者の全員参加を達成。以降必須プログラムとなり現在に至ります。「自分で好きなものを選ぶ」「順番を待つ」「財布からお金を出しておやつと交換する」という流れを学んできました。

今では外出先の商店でのおやつ購入時には、予算内に商品を絞り込める利用者の方も現れました。将来は全員が作業収益金を得て、その収益金で買物することが目標です。

主任 五島健一

マイライフ



平成26年8月の開所当時より、グループホーム美山を利用されているIさん（70歳男性）が、住みなれた地域で、自立した生活を取り戻すための活動をご紹介します。

グループホームでの生活をはじめて

平成26年8月、グループホーム美山が開所となり、もともと美山地区に住んでおられたIさんが、福井市の特別養護老人ホームより転居されてきました。住み慣れた地域で生活することができ、ご家族も通いやすくなるというメリットから転居を希望されたそうです。

入所当時のIさんは、歩行困難により、ずっと座ったまま生活されることが多い状態でした。そのため、歩行器を使用したの訓練を進めてみましたが、無気力で拒否されることも多く、自宅を近くに感じるせいか「自分で歩いて帰る」と何度か出て行くとうときれ、不安定になっていきました。しかし、実際はうまく歩くことができず、座り込んで動けなくなってしまうということもありました。

そんなIさんのために、奥さんがたびたび来所され話を

してくださりました。また、職員も気分転換になればと、外出する機会を増やしました。すると、月日がたつにつれて帰りたいと訴えることはなくなっていきました。

気持ちの変化

職員と話をすることも増えて他の利用者の方を気にかけてくださるようになったIさんは、いつのころからか「山に登りたい」とおっしゃり、歩行訓練にも参加するようになりました。ご実家が林業を営んでいて、昔はよく手伝いに行っていたとのこと。「また、歩けるようになって、山に登ろうと思うんだよ」と最近になって、当時の気持ちを教えていただきました。歩行器を使用しながら、施設内での移動が自由でできるようになってきたIさん。今では、歩行器を使わず、手すりを使用しながら、短い距離であれば、自立歩行が可能になりました。

自分で見つけた役割

少しずつ歩けるようになり、できることも増えてきたころ、施設内の敷地にある畑仕事に興味を示されるようになりました。ほとんどの職員は畑仕事の知識がなく、地域住民の土田氏や家接氏が、ボランティアとして畑仕事に携わってくれています。同じ地域の方とあつて、すぐに顔なじみになり、Iさん自身から畑仕事を行うようになり、Iさんの居室からは畑の様子がよく見えます。朝、起床すると、まず畑を確認し、



必ず水やりを行い、作物の実りが確認できるようにになると、毎朝収穫もしてくださいます。いつの間にか、畑の管理が役割になりやりがいとなっていきました。昔は米作りに携わっており、畑仕事については初心者だったとのこと。それでもボランティアの方の力を借り、今ではてきばぎと仕事をこなします。時期がくると畑の世話をしてくれるIさんに、なにか感じていることがありますか？と質問したところ「自分で作ったものが実になれば、それはうれ

しいよ」と笑顔で答えてくださいました。

その他にも、カレンダールの日付を毎日かえたり、食事の時間には、おしぼりを取ってきたり、施設内のお仏壇には、お仏飯をお備えしていただきます。地域花壇の水やり活動にも参加され、生きいきと過ごされています。

入所当時は車椅子を使用することもあつたIさんが、車椅子利用者の方を押して歩くようになり、排泄も一部介助から自立にかわり、プライドをもつて生活されるようになりました。前向きに、できることを増やしなが、自立した生活を取り戻していく姿は、他の利用者の方や、職員にも力を与えてられています。



奥さんからの言葉

Iさん
ご夫妻



グループホーム美山で、野菜づくりなどの生きがいを見つけ、本来の自分を取り戻しつつある主人の姿をうれしく思います。これからも元気で明るく過ごしてほしいです。

今回、Iさんの記事作成に携わり、生きがいや目標をもつことで、人はこんなにも変われるのだと改めて思いました。Iさんは、自らの力でできることを見つけ実行していますが、何をしてよいのかわからない方もたくさんいらっしゃいます。誰もがもっていることができる力をひきだし、生きがいや、楽しみにつなげていけるようなサービスを提供していきたいです。

「マイライフ」自分らしくあるために。
グループホーム美山 介護職員 川端杏子

障スポ

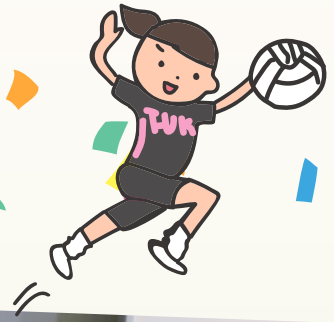
バレーボール (トリムパークかなづ)

いわさ きよみ
岩佐 清美選手

てらの さおり
寺野 佐央里選手

てらの ちか
寺野 知香選手

たちだ のりこ
舘太 典子選手



あわら市

坂井市

福井市

鯖江市

越前市

障スポ

サッカー (丸岡スポーツランド)

てらの せいと
寺野 聖人選手

てらの てつと
寺野 哲人選手



国体

フェンシング (AW-1スポーツアリーナ)

たんだいしょう
丹代 翔選手

障スポ

陸上競技 (9.98スタジアム)

いけだ はるな
池田 春菜選手



2018「福井しあわせ元気」
国体・障スポ
足羽福社会
選手団のご紹介

必勝！福井県選手団

間もなく開催される福井国体・障スポに当法人から出場される13名の選手の方々をご紹介します。

選手のみなさんは、限られた時間の中で本大会に向けた練習を日々積み重ねてきました。大会では日ごろの練習の成果をいかに発揮され、素晴らしい大会になることを応援団一同願っています。

社会福祉法人足羽福社会は、当法人の選手のみならず、すべての福井県選手団を応援しています。

国体 2018年 9月29日 ~ 10月 9日
障スポ 2018年 10月13日 ~ 15日

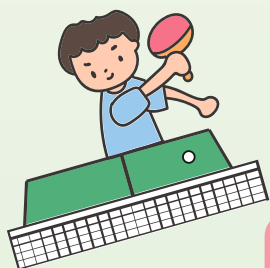


国体

バレーボール (トリムパークかなづ)

こばやし はるな
小林 遥奈選手

さかい りほ
坂井 里穂選手

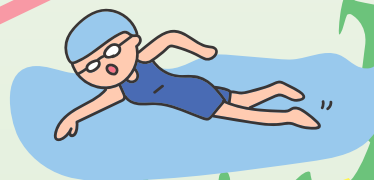


障スポ

卓球 (サンドーム福井)

だいどう ひでき
大道 英樹選手

くぼ まさのぶ
久保 正信選手



敦賀市

障スポ

水泳 (敦賀市総合 運動公園プール)

きしもと はるか
岸本 晴佳選手

法人からのお知らせ（今後の行事予定）

第26回 合同レクリエーション

日時：10月27日(土)
午前10：30～(予定)

場所：福井市東体育館

福井県自閉症支援者養成セミナー2018

日時：10月27日(土)～28日(日) 場所：足羽福祉会 法人本部研修センター

公開セミナー（第10回サービス実践報告会）

日時：12月9日(日)
午前10：00～

場所：福井県自治会館

第7回 足羽川ふれあいマラソン

日時：2019年3月24日(日)

場所：福井市木田小学校



**グループホーム「きらり」開設
グループホーム「あすわ」改修**

9月1日、障害者の高齢化に伴い、新たなグループホーム「きらり」を愛全園3階に開設しました。グループホーム「あすわ」の利用者の方の一部がこちらに移り、愛全園や病院との連携強化を図ります。

一方、グループホーム「あすわ」は拡張に向けた改修工事（来年4月完成予定）を行い、2年後のユニット化を控えた足羽更生園から一部の利用者の方が移行し、新たな生活がスタートする予定です。

この度は新園舎の完成、誠におめでとうございます。
2017年に迎えられた足羽福祉会様の50周年を機に建てられた新園舎は、性別や障害特性、年齢階層など個々人の状況にあわせて利用できることで、多様化への対応が求められる昨今、これまで以上に障がいを持つ子供たちのそれぞれ



4月に新園舎が完成した「足羽学園」に、お祝いのメッセージをいただきました。

足羽学園
新園舎竣工に寄せて
宿布町自治会会長
古市正樹

れの成長に即した専門的支援がされるものと喜んでおります。

足羽福祉会様には日頃よりお世話になっており、特に足羽学園の皆様には、宿布町内会の一員として清掃活動や花壇の手入れなどにご協力いただき非常に感謝しております。高齢化・過疎化が進む自治会において、足羽学園の児童・生徒の皆さんのご協力は心強く、その交流に大変助けられています。

真新しい園舎ではしゃぐ子供たちの笑顔は、何物にも代えがたいものです。「共に生きる、共に集う、光を求めて」の理念のもと、今後の福井を担う一員として、機能的かつ家庭的に進化した足羽学園でたくさんのごことを学び、大きく成長されますことをお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

平成29年度社会福祉法人足羽福祉会の財務諸表を公開します。

平成30年6月1日開催の理事会にて承認されたものを簡略化した内容となっております。

貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

科 目	金 額(千円)	科 目	金 額(千円)
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	1,065,441	流動負債	606,735
固定資産	3,485,359	固定負債	260,821
基本財産	2,339,103	負債の部 合計	867,556
その他の固定資産	1,146,256	純 資 産 の 部	
		基本金	155,158
		国庫補助金等特別積立金	792,787
		その他の積立金	497,305
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	2,237,994 (88,915)
		純資産の部 合計	3,683,244
資産の部 合計	4,550,799	負債及び純資産の部 合計	4,550,799

事業活動計算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

科 目	金 額(千円)
サービス活動収益計	2,824,091
サービス活動費用計	2,738,043
サービス活動増減差額	86,048
サービス活動外収益計	15,913
サービス活動外費用計	3,720
サービス活動外増減差額	12,194
経常増減差額	98,242
特別収益計	1,094
特別費用計	10,421
特別増減差額	△9,327
当期活動増減差額	88,915
前期繰越活動増減差額	2,044,474
当期末繰越活動増減差額	2,133,389
その他の積立金取崩額	291,675
その他の積立金積立額	187,070
次期繰越活動増減差額	2,237,994

資金収支計算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

科 目	金 額(千円)
事業活動収入計	2,840,005
事業活動支出計	2,570,846
事業活動資金収支差額	269,159
施設整備等収入計	352
施設整備等支出計	331,351
施設整備等資金収支差額	△330,999
その他の活動収入計	299,775
その他の活動支出計	206,018
その他の活動資金収支差額	93,757
当期資金収支差額合計	31,918
前期末支払資金残高	646,690
当期末支払資金残高	678,608

当法人のホームページでも公開していますのでご覧ください。

URL : <https://www.asuwafukushikai.jp/>

【足羽東こども園】

(ボランティア・交流・訪問)

福井県立図書館 上文殊小学校

文珠苑 福井市立みどり図書館

金本貢司 館岡篤弥

(研修・実習・見学)

福井市防災センター 藤尾牛舎

前川侑未 小林颯音

【足羽ワークセンター・スマイル・カラフル・足羽サポートセンター・パステル】

(ボランティア・交流・訪問)

野路純子 朝日郁代 大久保佑

樹 大久保彩

(研修・実習・見学)

福井県立嶺北特別支援学校 福

井大学教育学部附属特別支援学

校 福井県立福井南特別支援学

校 福井県立南越特別支援学校

福井県立奥越特別支援学校

WILLB高等学校 仁愛女子短

期大学

【足羽学園・足羽更生園】

(寄付・寄贈)

(南吉田金属 古市正樹

(ボランティア・交流・訪問)

奥村和子 連合福井福井地域協

議会 キリスト教婦人部 林勇

太

(研修・実習・見学)

柏涛会(徳島県) 恩鳥福祉会(兵

庫県) 若狭ものづくり美学舎

福井市東部民生児童委員協議会

岡本淑江

【あすわ児童発達支援センター】

(寄付・寄贈)

波多野幸穂 尾谷輝雄 北川広

美

(ボランティア・交流・訪問)

小林莉詠 源野京子 松山絹子

廣田和見 江端美里 中道公代

山口真末 他谷恵 垣内梨紗子

野村若葉 中村汐里 小林直美

山田千恵子 森下泰隆

(研修・実習・見学)

仁愛女子短期大学 敦賀市立子

ども発達支援センターパラレル

放課後等デイサービスぱれっと

特定非営利活動法人はあもにい

永平寺 あいの里 福井県立嶺

北特別支援学校 福井県立福井

南特別支援学校 福井市福祉保

健部障がい福祉課 中村佳代

山形尚平

【愛全園】

(ボランティア・交流・訪問)

啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ボラ

ンティア 啓蒙民踊クラブ 福

井市赤十字奉仕団 花亀会 中

嶋安子 鈴木陽子 山下敏子

山下敬子 諏訪八重子 中野節

子 杉本信子 東新保ボラン

ティア 丸山ボランティア 福

井ばら会 よつばの会 写友会

啓新高等学校

(研修・実習・見学)

福井県警察学校 福井農林高等

学校 福井商業高等学校

【足羽利生苑】

(ボランティア・交流・訪問)

福井市赤十字奉仕団 丸山グ

ループ まーまれーど美容室

宇都宮友美 美容室倶楽部浜田

戸嶋聡美 本多幸雄 梯洋枝

オカリーナポルテ 野坂幸雄

高嶋政廣

(研修・訪問)

福井県警察学校 福井大学

【グループホーム美山】

(寄付・寄贈)

郵便局足羽部会

(ボランティア・交流・訪問)

家接忠 家接加津代 山下妙子

広田春美 柴田千恵子 八尾百

合恵 前川美代子 安田鈴子

林喜美子 高木信行 北川江美

子 藤田孝曜 林幸男 野坂幸

雄 多田千尋 土田俊一 すぎ

のこ児童館 美山保育園 美山

公民館下宇坂分所 美山町自治

会

順不同・敬称略

編集後記

暑いときにラーメンが食べたくなり
ます。おいしいものたくさん食べて
頑張るぞ★ 井上(こ)

今年の夏は猛暑でしたね★早く清々
しい季節がくることを願います。次
回の『愛道』発刊に向けてアイデア
を練ります。 高島(つ)

今年度初めて広報委員になりました
。皆さんに楽しんで読んでいただ
けるような『愛道』を目指して頑張
ります。 天谷(守)

日頃、休みを見つけているいる旅行
しています。秋もどこかに行き
たいです。 吉村(学)

食欲の秋。太らないよう気をつけ
たいです(笑) 長家(重)

利用者の方の外出や行事の様子を
福祉会ブログで更新中です！ぜひご
覧ください！ 川井(地)

サッカー日本代表、興奮と感動を
ありがとう！ 齊藤(侅)

8月に職員旅行に行かせていただき
りフレッシュできました。他の職員
に「珍道中楽しんで」と言われ、そ
の通りの珍道中(笑)仕事が珍道中
にならないように頑張ります。

大杉(愛)

今年の夏はとても暑かったですね。
日差しが強いので日焼け止めが欠か
せませんでした。 日野岡(利)

うんざりするほど暑かった、夏の疲
れが出るころです。体調管理に気を
つけましょうね。 川端(美)

大雪、猛暑と続いた今年。平成最後
の秋は、国体・障スポでファイト！
です。 川縁(本)

社会福祉法人 足羽福祉会 <https://www.asuwafukushikai.jp/> 法人本部 福井県福井市母野町20-7 TEL(0776)41-3108

子ども福祉

- ・啓明児童クラブ
- ・上文殊児童クラブ
- ・足羽東こども園
- ・足羽学園
- ・子ども発達支援センター
フレンズあすわ
- ・フレンズみゆき

障がい者福祉

- ・福井市障がい者
基幹相談支援センター
- ・あすわ相談支援事業所リアン
- ・足羽更生園
- ・足羽ワークセンター
- ・スマイル
- ・カラフル
- ・足羽サポートセンター
- ・パステル
- ・あすわ地域生活支援センター

高齢者福祉

- ・福井大東包括支援センター
(ほやねっと大東)
- ・愛全園
- ・足羽利生苑
- ・グループホーム美山